

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 心理学専攻 修士課程《一般》 博士後期課程《一般》 研修生	2026年度 春季
英語		

【1】

《解答又は解答例》

著作権の関係で、掲載いたしません。

《出題の意図》

1. 心理学の再現性問題についての基本的な用語をきちんと訳せるかどうか。具体的にはプライミングやバークの実験について、理解し適切に訳すことが出来るか。
2. “train wreck looming” のような比喩を文脈全体を理解した上で、適切に訳すことが出来るか。

3. 時制の一致と過去完了形の使い方

In 2012, a team of Belgian scientists reported that they had been unable to replicate a canonical experiment...

過去完了形と過去形を正しく訳せているかどうか。具体的には、2012年より前に実験の再現に失敗していることがきちんと理解できているかどうか。

4. 関係節の長い修飾構造

...a canonical experiment in the field of psychology known as “priming.”

この修飾構造を理解して、適切に日本語の文の中に表現できているか。

known as … の部分が a canonical experiment を後ろから修飾しているが、このような「後置修飾」は日本語では前に置いた方が自然な表現なので、それができているか、あるいは出来ていなくても、意味が通る文章になっているか。

5. 分詞構文と挿入句の理解

...words connoting old age unconsciously influenced—or primed—research subjects...

connoting old age が 現在分詞の句 で、words を修飾していて、「老いを意味する言葉」という意味になり、挿入の -or primed- は「つまり“プライミング”したという意味で」という言い換えになっているが、これらの文構造を理解できているか、また、適切に日本語に表現できているか。

6. 分詞構文

最後の文の raising fundamental questions about the soundness of research practices in the field

動詞 raise の -ing 形から始まる 結果や付帯状況を表す分詞構文が、「そしてそのことが～という根本的な疑問を引き起こした」という結果的ニュアンスとして訳せているかどうか。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 心理学専攻 修士課程《一般》 博士後期課程《一般》 研修生	2026年度 春季
英語		

【2】

《解答又は解答例》

- 問1 棒グラフ
- 問2-1 棒グラフをどのように描画するのが最も良いのか（分かりやすく効果的であるか）という点に焦点を当てることが多い。
- 問2-2 棒グラフは通常どのように解釈されるのかについて焦点を当てることが多い。
- 問3-1 平均値は、その算出過程で平均値よりも大きい値と小さい値の両方から均等に影響を受ける。
- 問3-2 平均値を描画するときにはある特定の軸（通常は平均値の下側の軸）から伸びる棒グラフの最も離れた端として表されること。
- 問4 棒グラフを見るときに、棒の内側に該当する値の方が棒の外側に該当する値よりも測定データである確率を高く見積もってしまうという可能性
- 問5 平均値は本来その値よりも大きい値と小さい値の両方から算出されるものはずなのに、棒グラフを使うことによって片方の値にだけ注目されてしまい、データを正しく解釈してもらえない可能性があるため。
- 問6 6個

《出題の意図》

- 問1 論文の研究テーマとなる部分を読み取れているかを確認する。
- 問2 論文の研究テーマとなる部分を読み取れているかを確認する。
- 問3 論文の中で検討する内容に関わる記述を読解できているかを確認する。
- 問4 論文に記述されている研究の目的となる部分を正しく読解できているかを確認する。
- 問5 問題文全体を通して、論文が記述している問題について正しく読解できているかを確認する。
- 問6 この後に続く実験内容のセクションとの繋がりを読解できているか確認する